

# 自立活動だより

紀北支援学校自立活動部 平成28年2月発行②

## 平成27年度 紀北支援学校 研究発表会の報告

平成28年1月26日（火）本校にて平成27年度の研究発表会が開催されました。

今年度本校は、和歌山県教育委員会人権教育推進室から新たに指定を受け、「人権が尊重される学校づくり」というテーマで授業改善を中心に取り組みました。「子ども一人一人の人権が尊重される授業づくりをすることで、子どもが主体的に活動できる授業を展開することができる」という研究仮説の元、「自立活動の実践研究」グループと「教科や各教科等を合わせた指導(以下、教科や合わせた指導)の実践研究」グループに分かれ、それぞれ授業改善に取り組みました。

自立活動の研究グループでは、「自立活動の授業は、子ども一人一人の実態把握から開始するものであり、自立活動の授業の改善をしていくことは、一人一人を大切にすることに繋がり、ひいては人権が尊重された授業に繋がる」という研究仮説を独自に設け、自立活動の研究を希望した教員を8つの研究グループに分け、ビデオ撮りした授業をもとにそれぞれのグループで協議し改善を進めました。また、「人権が尊重される授業づくりのためのチェックリスト(以下、人権チェックリスト)」を活用し、自分たちが進めている授業改善が人権の視点から見てどうなっているかの確認をしました。今回の研究発表会ではその研究成果を発表させていただきました。

午前中は全体会と公開授業、午後からは研究報告と公開授業に関するポスター発表、最後に和歌山大学大学院教育学研究科教授 武田鉄郎氏による研究総括が行われました。

今回の研究発表会は、県内の特別支援学校だけでなく、小学校、中学校、高等学校や福祉サービス事業所、大阪府立の高等学校等から60名を超える方々が来校されました。

### 全体会

本校 武内正晴校長、和歌山県教育庁生涯学習局 楠義隆局長によるあいさつの後、研究・研修部長から日程説明がありました。

### 公開授業

小学部、中学部、高等部の各学部が「自立活動における時間の指導」、「教科や合わせた指導」の公開授業を行いました。愛徳分教室での授業と訪問学級での授業については、ビデオ上映での公開授業を行いました。



小学部の図工の公開授業



訪問学級の自立活動の公開授業  
(ビデオにて)

### 研究報告

人権教育部長が「人権が尊重される学校づくり」というテーマに基づいて、どのように研究を進めたのか、目的、方法、結果について報告しました。研究で使用した人権チェックリストについても説明しました。



### ポスター発表

午前中に公開した7つの授業（ビデオ上映での公開を含む）について、4月からの授業改善の経過や、大切にしてきたことなどを発表しました。「授業を見るだけではわかりにくかった授業者のねらいや授業の改善点、子どもたちが学習を積み重ねてきている様子が、ポスター発表を聞くことで理解が進んだ」という意見をたくさんいただきました。



訪問学級の自立活動



小学部の自立活動



愛徳分教室の自立活動



中学部の自立活動



小学部の図工



中学部の課題別学習



高等部の国語

### 研究総括

最後に「一人一人を大切に授業づくりとは ～人権が尊重される授業づくりのためのチェックリストの効用を期待して～」というテーマで、和歌山大学大学院教育学研究科教授 武田鉄郎氏に研究の総括をしていただきました。

その中で「教師は教育哲学をもたなければならない」、「自尊感情を育てるには自己選択・自己決定が必要」、「“できる”と“わかる”の評価の両方を大切に」、「主体的な活動と教師による指導・支援の関係性」といったお話が非常に印象的でした。人権についても、自尊感情の育て方、大切にしなければならぬことを丁寧にお話しいただき、人権は全ての教育活動の基盤であるということを確認することができました。今年1年間の研究の総括ではありましたが、この人権研究は本校が平成22年度から継続して取り組んできている自立活動の研究の延長線上にあり、研究の方向性が間違っていないということが確認できました。



参加者の方々からも、「子どもの実態に応じて指導方法を工夫していった様子がよくわかりました」、「授業づくりと人権教育をしっかりとつなげて取り組んでいることとその成果が参考になりました」、「生徒一人一人を尊重する授業というものを見ることができ、一人一人の個性や実態、抱える思いは様々ですが、どんな子の状態にも向き合っ、次々と支援を工夫していく姿に感動しました」等々の感想をいただきました。

最後に研究総括をしていただいた武田鉄郎氏には、興味深い話題を多数提供して頂いたことを、心から感謝しております。また、今回の研究発表会に参加頂いた先生方、並びに関係各位に対し感謝申し上げます。